

令和5年度
筑波医療福祉専門学校 学校自己評価結果報告書

令和6年4月1日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標（令和5年度）

- ビジョン
地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる
- ビジョンの実現に向けたテーマ
地域社会から必要とされる学校になる
地域社会から必要とされる人材を輩出できる学校になる
- 学校経営スローガン
智・徳・美・体のバランスのとれた対人援助専門職の養成
そして何よりも心の優しい人材を養成する
- 重点教育目標
鍛えて伸ばす授業の実践と国家試験及び各種検定試験の合格率100%を目指す
在学生の希望する就職先への就職率100%を目指す
学生募集の強化（介護福祉学科20名、医療事務学科10名を最低ラインとする）
- 具体的な対策
授業の充実と教育の質の向上
国家試験及び各種検定試験対策指導の充実
留学生への効果的な指導体制の構築
積極的な学生募集（幅広い層からの募集）
- 地域社会との関係

ビジョンの具体化

各関係機関等との連携強化と学生に還元できる取り組みの推進

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 学生を鍛えて伸ばす指導の推進と国家試験及び各種検定試験合格率の向上
- 各学科長のリーダーシップと行き届いた職員指導
- 報告・連絡・相談の徹底
- 留学生の組織的・計画的な指導の充実
- 新ビジョンに基づく学校・各関係機関等との連携強化と具体化
- 積極的な学生募集（幅広い層からの募集）

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 今度の改善方策	
③ 特記	学科長、教務部長で具体的な行動指針を立て、それぞれの学科内で共有してはどうか。トップダウンでもボトムアップでもよいと思う。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1

・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	②	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

②		}
③		}
④		}

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	②	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1

・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

②	難しい学生に対する教科指導、実習指導の充実を図る必要がある。卒業の判定だけでなく実習の判定基準が明確になっていない。
③	個々に対応している現状から系統的な指導としてマニュアル化してはどうか。実習に関連する実習日誌や介護計画の授業の中で実習に行かせるべきかの判定をすべき。普段の授業の中でも外部施設等と連携し教育に活かす。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	4 ③ 2 1

① 課題

②	退学（①入学前期終了するまでに辞める②進級できないために辞める）をどのように食い止めるかの具体的な方策がとられていない。理解不十分のままミスマッチの状態での入学し退学している現状。
③	特に介護福祉学科で退学が多いため、教員間でどうやって①。②を食い止めていくのか方針を決めていく必要がある。入試やオリエンテーションで職業人に求められる資質を伝える。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1

・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

②	留学生や社会人からの学生募集、入学後の指導体制、就職までの系統だった体制が十分整っていない。
③ 特	留学生や社会人の入学にあたり何が必要か、課題なのか、それに充てる人員や設備、仕組み、経費を整理、確定し学生を迎え入れる土台作りが必要。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

③	就職先に合わせた教育。実習記録をPC（タブレット）を使用し入力。机、椅子の老朽化。
	アプリやソフトを活用した学習。机、椅子の入替。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

①	オープンキャンパスの内容精査。高校生へのアプローチ。社会人へのアプローチ。留学生の獲得。小・中学生への「介護」に関心を持ってもらうための取組の機会が持たれていない。
---	--

② 今度の改善方策

具体的にいつ、どうやって、どのようにアプローチをしていくのかを決めて取り組んだ方がよいと思う。
近隣の小・中学校へ学校の存在を知ってもらおう活動。

③

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	③	2	1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 課題

② 今度の改善方策

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	③	2	1
・法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

① 課題

② 今度の改善方策

③ 特記事項

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の委託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ② 地域にもっと学校を知ってもらえる機会があると学生募集にもつながるのではないかと考える。 ③ 無料介護講座等を開講し、幅広い年齢層へのアプローチにつながるものとする。

(11)国際交流(必要に応じて)

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1
・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1

① 課題

- ③ 受入れた留学生に対しては丁寧に対応を心掛ける。 ④ 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校環境整備としてWIFI完備、全教室のカーテンの設置、暖房便座への切替えを行いました。椅子や机の老朽化が激しいので早急に改善が必要である。難しい学生に対する対応や退学率改善に向けた取組が必要である。募集に関しては幅広い年齢層へのアプローチが必要で、無料介護講座等を定期的の開講し、学校の認知、学生募集へつなげていく。授業を理解できない学生に対しての対応を検討しなければならない。少子化もあり留学生の受入れは重要になってくるが、入学基準としてはN2もしくはN3でも限りなくN2に近い日本語能力を有している事が望ましいと考える。